

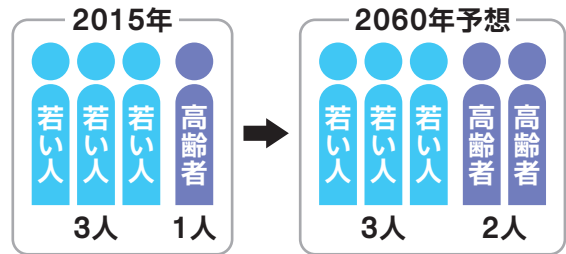
知ってる？ 認知症

考えよう! 自分にできること

監修：医療法人社団翠会 和光病院
院長 今井 幸充

高齢者がふえる日本

日本は今、子どもや若い人の数がへり、65歳以上の「高齢者」の数がふえ続けています。小学生のみなさんが50歳くらいになるころの日本は、2.5人に1人以上が高齢者になっていると予想されています。



高齢者は、年をとっていくなかで、いろいろな経験を積み、社会の役に立つことをしてきました。みなさんが日ごろ当たり前に使っているものには、今の高齢者が作ってきたものがたくさんあります。

しかし、年をとっていくと、子どもや若い人に比べて健康に関する不安も大きくなっていきます。その不安の1つに、「認知症」という病気の症状があります。認知症の人の数は今後もふえ続け、2025年には日本の高齢者の5人に1人になることが予想されています。

わたしの地域の認知症高齢者数

- 日本の人口： 人 年現在
- 日本の高齢者数： 人
- 日本の認知症高齢者数： 人
- わたしの住んでいる地域の人口： 人
- わたしの住んでいる地域の高齢者数： 人
- わたしの住んでいる地域の認知症高齢者数： 人

にんちしょう 認知症ってなんだろう

認知症は、^{のう}脳の病気が原因で、ものわすれがひどくなったり、今まで^{かんたん}簡単にできていたことができなくなったりする^{しょうじょう}症状や^{じょうたい}状態のことです。

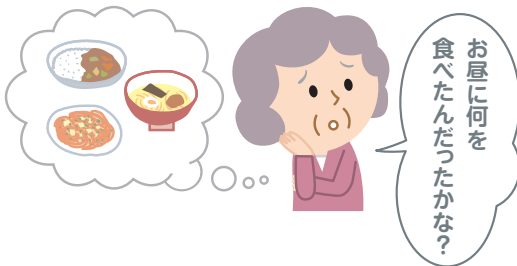
年をとることによる「ものわすれ」とのちがい

年をとると、ものおぼえが悪くなったり、人の名前が思い出せなくなったりしますが、認知症はこのような「ものわすれ」とはちがいます。

年をとることによる「ものわすれ」は、できごとの一部をわすれても、ヒントがあれば思い出せることが多く、また、料理などのものごとの手順はおぼえているので、「ものわすれ」のせいで日常生活がうまくいかなくなるということはほとんどありません。

しかし、認知症による「ものわすれ」は、できごとのすべてをすぐにわすれてしまい、ヒントがあっても思い出せず、また料理などのものごとの手順もわすれてしまい、その結果、日常生活がうまくいかなくなったりします。さらに、今まで簡単にできていたことができなくなってしまうことから、それまで好きだったことに^{きょうみ}興味をもたなくなるなど、今までと様子がちがい、人が変わったようにみえることもあります。

年をとることによる「ものわすれ」



認知症による「ものわすれ」



年をとることによる「ものわすれ」とのちがいのまとめ

- すぐにわすれる
- 自分のしたことをまるごとわすれる(ヒントがあっても思い出せない)
- ものごとの手順がわからなくなる
- 今までと様子がちがい、人が変わったようになる

➡ 認知症だと、「ものわすれ」により日常生活がうまくいかなくなる